早春の横浜の公園巡り

日　時：2019年3月28日（木）　　天候：曇り時々晴れ　　15000歩　　約10km

集　合：横浜市営地下鉄「仲町台駅」 10時

コース：仲町台駅→せせらぎ公園→茅ヶ崎公園→大原みねみち公園→鴨池公園→都築中央公園→大塚・歳勝土遺跡公園→市営地下鉄「センター北駅」（解散）

参加者：吉野（L）　勅使河原　小作　常盤　平石　大平　高橋文　小野里　熊島　平野　小林　森川　伊藤美　小島　福士　桑原　山川　吉田　　計18名

数日前の予報では南の風が強めとありましたが、幸い風も弱く快適な一日でした。集合場所の仲町台駅は、以前にもここで集合した覚えが有ります。港北ニュータウンの中心エリアにあるせいか、駅前から続く舗道並木にもどことなく洒落た雰囲気が漂い、その先の公園には春休みを迎えた子供達のグループが、先生方に守られて楽しそうに遊び回っていました。

このところ暖かな日が続いたこともあり、日当たりの良い場所の「陽光」はほぼ満開を迎えており、ソメイヨシノも八分咲きで、白い花のオオシマザクラとの競演は見応えがあります。本格的な新緑の季節にはやや早いものの、竹林や枝垂れ柳の黄緑色も目に沁みました。今回歩くこの港北ニュータウン地区は1974年に開発認可が下り、1994年には人口増加に伴い、都築区として分区されました。私もかつて造成中のこの付近を見に行ったことがありますが、ダンプカーが埃を舞い上げ、ブルドーザーが唸りをあげている様は、まるで月面のような無機質な風景でした。それが今では保存緑地や緑道が多く残され、車歩分離も徹底した住環境は、かつての多摩ニュータウンを越えているほど。この日は六つの公園を繋いで歩きましたが、どの公園も良く整備されていて、四季折々楽しめるこの環境は羨ましいかぎりです。　　＜フォトレポート　小島＞

鴨池公園の桜の下で全員集合。日当たりの良い場所ですがソメイヨシノはまだ八分咲き！（笑顔も八分？）

朝の仲町台駅前はまだ肌寒いくらい。

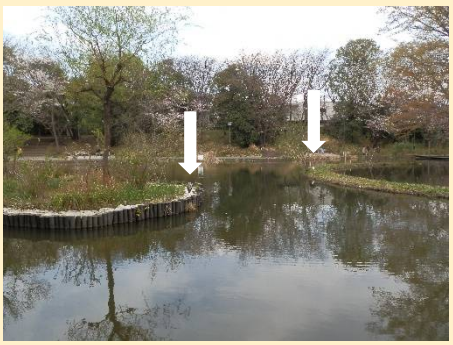
駅前の案内図で位置を確認し出発です。

銀杏並木の新緑ももうすぐでしょうか。

せせらぎ公園では子供達が遊び回っていました。

古民家のある場所で小休止。

男同士で怪しげな体操をしていますが・・



園内には池があり小魚もいます。

それを狙ってかアオサギが。

対岸にはシラサギもいました。

皆さんがアオサギを発見！よく見つけられたもの。

園内のせせらぎ池の対岸へ向かいます。

桜を背に高橋文さんのストレッチで身体をほぐす。

本日のリーダー吉野さんからコース説明が。

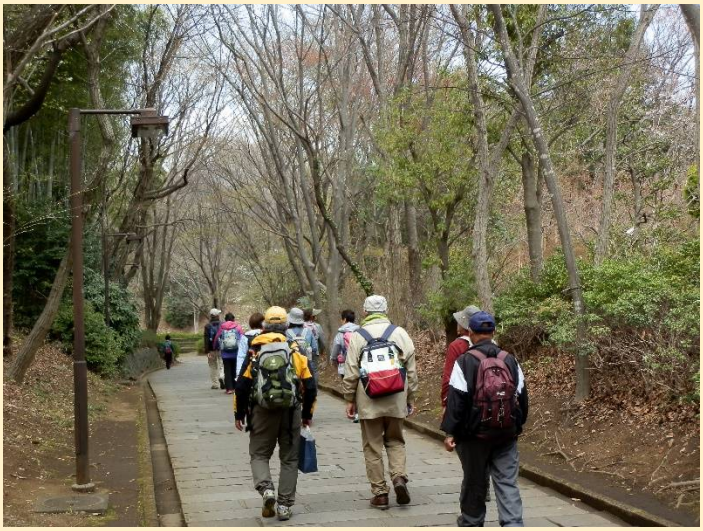
せせらぎには鴨の夫婦（？）も。

流れに浮かぶ花筏。

桜に見送られ公園を後にします。

これはソメイヨシノ。ここはほぼ満開！

「今日は孫が来るのよ」「お小遣い用意しないと」



ここから茅ヶ崎公園に入ります。

気温が上がってきたので女性軍は一斉に着替え中！

「頭に時計が生えたよ」「どうりで重いわ」

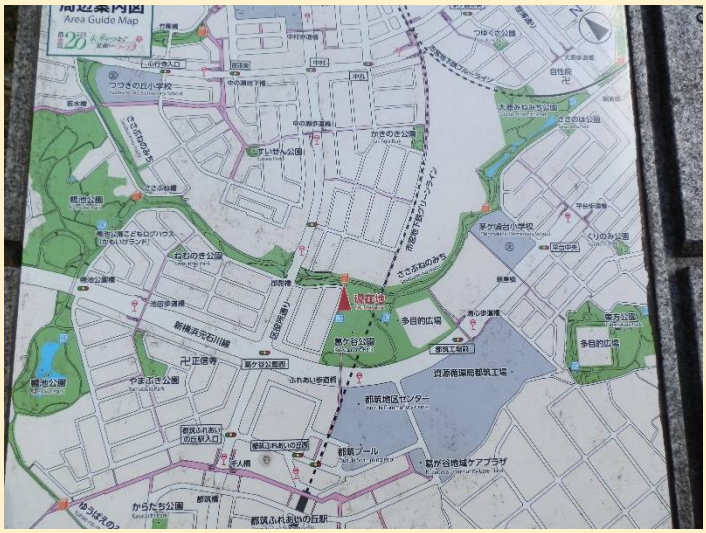
この道、秋も紅葉で良さそうですね。

黄水仙の奥には赤いチューリップも。その上には木々の緑が覆いかぶさっています。

風で回るオブジェから茅ヶ崎公園を後にします。

誰かが「美容院」と。ここエクレアが有名な店でした！

何やら石のオブジェがある葛が谷公園に到着。



地図で確認すると「ささぶねの道」に沿っています。

立合い演説会？囲まれていますね。

おや、こちらでも。何だ？

何でもいいから年金増やせ～！

鴨池公園に到着。日当たりの良い公園です。

池の水深 1.8m．つま先立でギリギリ立てそう？

「今韓ドラ何見ている？」「農婆で忙しくてね・・」

「新元号は？」「“大平” で良いんじゃない？」

ここでの集合写真はこの桜の下で撮りました。青空も覗いて花の色も映えます。

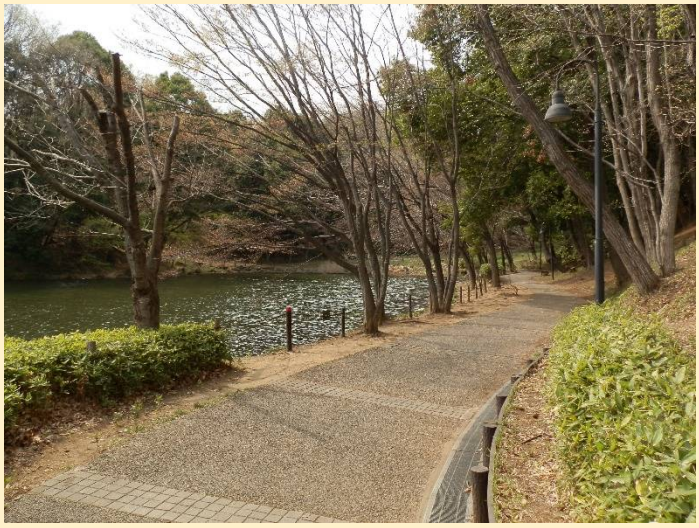
都築中央公園に入り。ここでランチとしました。

ステージ広場。円周形のベンチに座って。

“五者五様”のランチ風景。ここはベテラン組？

こちらピチピチギャル風（？）グループと男一人！

ランチを終えて次のポイントへ。何を覗いているの？



都築中央公園の散歩道。大きくもない「宮戸の大池」

杉山神社。上る人、上らない人。

お賽銭を入れずにお願いする人も。

この急階段、下りは要注意です。

緑道沿いばかりだったので久しぶりの幹線道路です。

地元のヒーロー「都築まもる君」。でもなぜゴリラ？

歩道橋に上がると、横浜市歴史博物館が目の前に。

今回は入らず「大塚・歳勝土遺跡公園」へ向かう。

入り口に咲く満開のソメイヨシノと綺麗な竹林。

振り返り桜を見上げていますが・・ポツリと雨が。

大塚遺跡に入りここで暫し見学タイム。

なるほどね・・・でもバッグが開いていますよ！

［大塚・歳勝土遺跡］

神奈川県横浜市都筑区（港北ニュータウン内）にある弥生時代中期の遺跡で国の史跡。1972 年（昭和 47 年）に港北ニュータウンの開発に伴う事前の発掘調査で存在が明らかに。大塚遺跡は高台に作られた弥生時代中期の環濠集落であることが確認された。歳勝土遺跡では、大塚遺跡の環濠とその周囲に広がる土塁に近接した一帯から方形周溝墓群が発見されて、年代的にも同時代であることが確かめられ、環濠集落（大塚遺跡）に住んだ人びとの墓地であることが明らかになった。弥生時代の大規模な環濠集落が完全な形で発掘されたのは極めて稀有な例。両遺跡の全体像が明らかになった結果、居住域と墓域が一体的に把握できる貴重な遺跡であるとして残存部分が 1986 年（昭和 61 年）1 月 31 日に国の史跡に指定された。

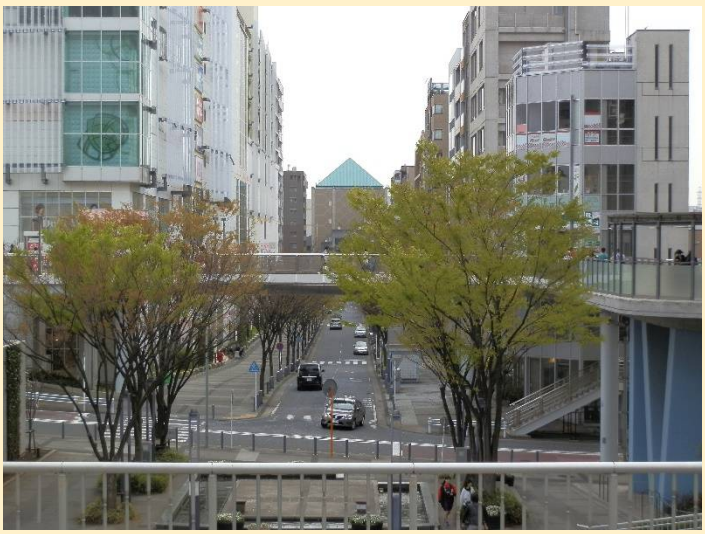
この大塚遺跡は周囲が堀に囲まれた環濠遺跡で、竪穴住居や高床式倉庫等が復元されている。

当時なら「ミス弥生」だったかもね！

のんびり座っていると弥生人から呼ばれますよ～！

竪穴住居跡を前に全員集合。「今日はここに泊まるか」「でもネズミに顔をかじられそう」「じゃ、や～めた！」

本日の締めに園内で満開の「陽光」の写真を載せておきます。天気が良ければもっと映えたのですが・・・



ゴールのセンター北駅に到着。歴史博物館も見える。

吉野Ｌの挨拶で解散。あれ、クールダウンは？

＜今日の一言＞

まさに春爛漫の暖かさの中、お花見ウォークの一日でした。最後に訪れた「大塚・歳勝土遺跡公園」ですが、ここに来て古代に思いを馳せるとき必ず思い出すことがあります。それは私事になりますが、高校時代に京都のユースホステルに泊まった折のこと。「日本には旧石器時代は無かった」との考古学の常識を覆すこととなった、あの岩宿遺跡の発見者、相沢忠洋氏と出会ったことです。ペアレントが「先生、夕食はどうしますか」と言うと、その人は「学会があるのでいりません」と答え、横にいた私に「石器に興味はないかい？」と言いつつ、箱に入った数多くの“石”を見せてくれました。その時はそのような人とは知らなかったのですが、あとでペアレントから聞き驚いたものです。私が古代の歴史や遺跡に興味を持ったのも、氏との出会いがきっかけになったのかも知れません。

相沢氏は若い時から行商をしながら、独学で考古研究を行った苦労人で、群馬県笠懸村の関東ローム層から黒曜石で作られた打製石器を発見。考古学者達からは「学歴も知識もない素人が・・・」とバッシングを受けましたが、めげずに地道な発掘努力を積み重ね、日本に旧石器時代が存在したことを実証した人物です。私が京都で出会った頃は、おそらく30代後半だったと思いますが、東京生まれで子供の頃の数年間を鎌倉で過ごしたことが、考古学に興味を持つきっかけになったとのこと。群馬県桐生市には「相沢忠洋記念館」があり、長年にわたり収集した石器類が展示されていますので、皆さんも機会があったら是非訪れてみて下さい。

ウォークからは些か話が脱線しましたが、もう“先が見えた”私の青春時代の一頁ということで読み流して下さい。

本日は吉野Lはじめ参加された皆さんお疲れさまでした。

END